



平成23年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年 7月 7日

上場会社名 川口化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4361 URL http://www.kawachem.co.jp  
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)山田 吉隆  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役総務部長兼経理部長 (氏名)荻野 幹雄 (TEL)048(222)5171  
 四半期報告書提出予定日 平成23年 7月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年11月期第2四半期の連結業績(平成22年12月1日～平成23年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年11月期第2四半期	3,548	—	126	—	122	—	109	—
22年11月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年11月期第2四半期	9 01	—
22年11月期第2四半期	—	—

(注)平成23年11月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成22年11月期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年11月期第2四半期	6,135	1,486	24.2	121 97
22年11月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 23年11月期第2四半期 1,486百万円 22年11月期 — 百万円

(注)平成23年11月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成22年11月期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年11月期	—	0.00	—	—	—
23年11月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年11月期の連結業績予想(平成22年12月1日～平成23年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期	7,200 —	220 —	200 —	170 —	13 95

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

(注)平成23年11月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成22年11月期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。



## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	5
(1) 重要な子会社の異動の概要	5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	5
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	5
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書	8
【第2四半期連結累計期間】	8
【第2四半期連結会計期間】	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. (参考) 四半期財務諸表 (個別)	12
(1) 四半期貸借対照表 (個別)	12
(2) 四半期損益計算書 (個別)	14
【第2四半期累計期間】 (個別)	14
【第2四半期会計期間】 (個別)	15
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 (個別)	16
5. 補足情報	17
(1) 経営管理上重要な指標の推移	17

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、中国を中心としたアジア経済が引き続き拡大路線を継続しましたが、日本国内においては経済対策の終了による生産活動の減速や個人消費の停滞、円高の継続とあわせ、本年3月11日に発生した未曾有の東日本大震災の被害が、広域かつ甚大で、日本経済に深刻な影響を与えており、景気の先行きは不透明感がより強いものとなりました。

日本国内の自動車生産が震災影響により大幅減産となったことから、当社の関係する自動車関連業界では弱い動きが続いております。

このような経済環境下、原油価格は上昇基調であり、原材料供給や価格は不安定であり、円高の継続により国際競争は激しさを増していることから、当社を取り巻く環境は、厳しい状況にあります。

当社グループにおきましては、原材料や人員の確保ならびに生産体制を柔軟に変更することによる生産能力の確保・増強を行い、変化の激しい市場の動向を的確に捉えた生産体制の強化を進め、主力のゴム薬品・環境用薬品に加えて機能性化学品の拡販や新製品戦略の展開を行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は35億48百万円、営業利益は1億26百万円、経常利益は1億22百万円、四半期純利益は1億9百万円となりました。

なお、第1四半期連結会計期間が四半期連結財務諸表の作成初年度であるため、前第2四半期連結会計期間比較については記載しておりません。

#### (部門別の概況)

##### <ゴム薬品>

ゴム薬品の分野は、中国をはじめとするアジア各国の経済活動の拡大が今期に入っても継続したものの、国内においては経済対策の打ち切りの反動により自動車販売台数が減少したことに加え、3月に発生した東日本大震災の影響により、自動車生産ならびに販売台数は大幅減少となりました。

このことが主要顧客であるタイヤ、ゴム工業用品、合成ゴム用途において生産活動に大きな影響を与えましたが、全社を挙げて顧客の需要に合わせた生産販売に対して注力したことから、売上は増加しました。輸出におきましても、円高が進行し厳しい環境ではありますが、中国をはじめとするアジア各国の市況に合わせ販売活動を強化し維持拡販に努め、売上を伸張させました。

この結果、この部門合計の売上高は21億83百万円となりました。

##### <樹脂薬品>

樹脂薬品の分野は、主要需要先である国内外のアクリル酸・アクリル酸エステル・ABS樹脂・MMA等の生産は拡大継続したため関連製品の販売は増加しました。自動車産業用途における需要は東日本大震災の影響がありやや減少しました。海外顧客においては需要増減がありましたが、樹脂薬品全体として売上を伸ばしました。

この結果、この部門合計の売上高は5億13百万円となりました。

##### <中間体>

界面活性剤中間体は東日本大震災の影響により一時減産を余儀なくされたことから販売が減少しました。染料中間体は、国内において市場の回復や顧客の需要増加に合わせた販売を行い売上を伸ばしました。しかしながら一部製品において輸出向け数量が減少したことから、染料中間体としては売上が減少しました。医薬中間体は機能性化学品において売上が増加しましたが、農薬中間体においては品目により売上の増

減がありました。

この結果、この部門合計の売上高は3億64百万円となりました。

<その他>

環境用薬剤は、市場動向に合わせ拡販に努力いたしましたが、他の薬剤との競合が激化し売上が減少しました。潤滑油向け薬品は関連産業の生産減少により売上が減少しましたが、新規用途向け製品の販売に注力した結果、全体として売上高は前年同期を上回りました。

この結果、この部門合計の売上高は4億85百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ①財政状態の分析

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は61億35百万円となりました。なお、流動資産は39億13百万円、固定資産は22億22百万円であります。

流動資産の主な内訳は、現金及び預金5億20百万円、受取手形及び売掛金20億90百万円、製品7億71百万円であります。

固定資産の主な内訳は、有形固定資産18億54百万円、投資その他の資産3億60百万円であります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における総負債は46億49百万円となりました。なお、流動負債は27億83百万円、固定負債は18億66百万円であります。

流動負債の主な内訳は、支払手形及び買掛金12億40百万円、短期借入金8億70百万円であります。

固定負債の主な内訳は、社債6億円、長期借入金5億43百万円、退職給付引当金5億98百万円あります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は14億86百万円となりました。純資産の主な内訳は、利益剰余金8億13百万円あります。

なお、第1四半期連結会計期間が四半期連結財務諸表の作成初年度であるため、前第2四半期連結会計期間比較については、記載しておりません。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、5億20百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、税金等調整前四半期純利益の計上、仕入債務の増加等による資金の増加に対し、たな卸資産の増加等により2億62百万円の増加となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、有形固定資産の取得による支出等により1億20百万円の減少となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、借入金の減少等により86百万円の減少となりました。

なお、第1四半期連結会計期間が四半期連結財務諸表の作成初年度であるため、前第2四半期連結会計期間比較については、記載しておりません。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、第1四半期連結会計期間より連結決算を開始いたしました。通期の業績予想につきましては、本日平成23年7月6日発表の「連結決算の開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が、前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

#### ②たな卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地棚卸を一部省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

#### ③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ①資産除去債務に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間末  
(平成23年5月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	520,981
受取手形及び売掛金	2,090,752
商品及び製品	771,704
仕掛品	240,345
原材料及び貯蔵品	283,472
その他	8,405
貸倒引当金	△2,091
流動資産合計	3,913,572
固定資産	
有形固定資産	
機械装置及び運搬具（純額）	907,119
その他（純額）	947,127
有形固定資産合計	1,854,247
無形固定資産	
その他	7,196
無形固定資産合計	7,196
投資その他の資産	
その他	361,697
貸倒引当金	△850
投資その他の資産合計	360,847
固定資産合計	2,222,290
資産合計	6,135,862
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	1,240,453
短期借入金	870,000
1年内返済予定の長期借入金	164,768
未払金	294,964
未払法人税等	4,930
未払消費税等	8,333
役員賞与引当金	6,000
その他	194,177
流動負債合計	2,783,625
固定負債	
社債	600,000
長期借入金	543,548
退職給付引当金	598,977
役員退職慰労引当金	57,129

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間末 (平成23年5月31日)	
その他	66,385
固定負債合計	1,866,039
負債合計	4,649,665
純資産の部	
株主資本	
資本金	610,000
資本剰余金	58,437
利益剰余金	813,762
自己株式	△6,785
株主資本合計	1,475,414
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	7,607
為替換算調整勘定	3,174
評価・換算差額等合計	10,782
純資産合計	1,486,196
負債純資産合計	6,135,862

(2) 四半期連結損益計算書  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)
売上高	3,548,013
売上原価	2,975,020
売上総利益	572,993
販売費及び一般管理費	446,372
営業利益	126,620
営業外収益	
受取利息	508
受取配当金	308
不動産賃貸料	9,406
その他	2,692
営業外収益合計	12,915
営業外費用	
支払利息	12,768
社債利息	2,331
その他	2,074
営業外費用合計	17,173
経常利益	122,362
特別利益	
貸倒引当金戻入額	360
特別利益合計	360
特別損失	
特別損失合計	—
税金等調整前四半期純利益	122,722
法人税、住民税及び事業税	620
法人税等調整額	12,259
法人税等合計	12,879
少数株主損益調整前四半期純利益	109,842
四半期純利益	109,842

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)
売上高	1,808,163
売上原価	1,488,308
売上総利益	319,855
販売費及び一般管理費	218,492
営業利益	101,362
営業外収益	
受取利息	470
受取配当金	0
不動産賃貸料	4,703
その他	1,267
営業外収益合計	6,441
営業外費用	
支払利息	6,143
社債利息	1,194
その他	1,048
営業外費用合計	8,386
経常利益	99,417
特別利益	
貸倒引当金戻入額	360
特別利益合計	360
特別損失	
特別損失合計	0
税金等調整前四半期純利益	99,777
法人税、住民税及び事業税	310
法人税等調整額	17,418
法人税等合計	17,728
少数株主損益調整前四半期純利益	82,049
四半期純利益	82,049

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	122,722
減価償却費	177,866
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△355
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△31,797
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,000
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	643
受取利息及び受取配当金	△816
為替差損益 (△は益)	△53
支払利息及び社債利息	15,099
売上債権の増減額 (△は増加)	55,012
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△140,079
仕入債務の増減額 (△は減少)	112,979
未払消費税等の増減額 (△は減少)	6,340
その他	△47,798
小計	275,765
利息及び配当金の受取額	816
利息の支払額	△13,496
法人税等の支払額	△986
営業活動によるキャッシュ・フロー	262,098
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△119,876
投資有価証券の取得による支出	△1
従業員に対する貸付けによる支出	△2,867
その他	1,838
投資活動によるキャッシュ・フロー	△120,907
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200,000
長期借入れによる収入	200,000
長期借入金の返済による支出	△82,384
自己株式の取得による支出	△27
リース債務の返済による支出	△3,982
配当金の支払額	△140
財務活動によるキャッシュ・フロー	△86,534
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,557
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	57,214
現金及び現金同等物の期首残高	463,766
現金及び現金同等物の四半期末残高	520,981

**(4) 継続企業の前提に関する注記**

該当事項はありません。

**(5) セグメント情報**

(セグメント情報)

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年12月1日 至 平成23年5月31日)

当社グループは、有機化学工業薬品の製造および販売を行っておりますが、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める前掲の有機化学工業薬品事業の割合が、いずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

第1四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、前第2四半期連結累計期間(自 平成21年12月1日 至 平成22年5月31日)における(セグメント情報)については記載しておりません。

**(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記**

該当事項はありません。

## 4. (参考) 四半期財務諸表 (個別)

当第1四半期連結会計期間より、四半期連結財務諸表を作成しているため、前事業年度末、前第2四半期累計期間及び前第2四半期会計期間の個別財務諸表を参考資料として掲載しております。

## (1) 四半期貸借対照表 (個別)

		(単位：千円)
		前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	416,687	
受取手形及び売掛金	2,145,764	
商品及び製品	726,208	
仕掛品	200,664	
原材料及び貯蔵品	228,570	
その他	8,916	
貸倒引当金	△ 2,146	
流動資産合計	3,724,667	
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具 (純額)	974,275	
その他 (純額)	854,954	
有形固定資産合計	1,829,229	
無形固定資産		
その他	7,994	
無形固定資産合計	7,994	
投資その他の資産		
その他	419,037	
貸倒引当金	△ 1,150	
投資その他の資産合計	417,887	
固定資産合計	2,255,111	
資産合計	5,979,779	
		(単位：千円)
		前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,100,958	
短期借入金	1,070,000	
1年内返済予定の長期借入金	124,760	
未払金	245,370	
未払法人税等	5,648	
未払消費税等	1,992	
設備支払手形	63,306	
前受収益	9,264	
その他	164,996	
流動負債合計	2,786,297	
固定負債		
社債	600,000	
長期借入金	465,940	
退職給付引当金	630,774	
役員退職慰労引当金	56,485	
その他	67,085	
固定負債合計	1,820,285	
負債合計	4,606,582	
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,000	
資本剰余金	58,437	

利益剰余金	707,672
自己株式	△ 6,758
株主資本合計	<u>1,369,351</u>
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	3,845
評価・換算差額等合計	<u>3,845</u>
純資産合計	<u>1,373,196</u>
負債純資産合計	<u>5,979,779</u>

## (2) 四半期損益計算書 (個別)

## 【第2四半期累計期間】(個別)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年5月31日)
売上高	3,375,113
売上原価	2,820,191
売上総利益	554,922
販売費及び一般管理費	432,087
営業利益	122,835
営業外収益	
受取利息	552
受取配当金	214
不動産賃貸料	3,848
受取保険金	5,778
その他	2,249
営業外収益合計	12,644
営業外費用	
支払利息	17,761
社債利息	4,777
その他	2,504
営業外費用合計	25,042
経常利益	110,436
特別利益	
貸倒引当金戻入額	772
特別利益合計	772
特別損失	
たな卸資産除却損	613
固定資産除却損	420
特別損失合計	1,034
税引前四半期純利益	110,173
法人税、住民税及び事業税	620
法人税等調整額	2,671
法人税等合計	3,291
四半期純利益	106,881

## 【第2四半期会計期間】(個別)

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
売上高	1,747,913
売上原価	1,460,175
売上総利益	287,737
販売費及び一般管理費	219,881
営業利益	67,856
営業外収益	
受取利息	368
不動産賃貸料	1,924
受取保険金	2,321
その他	1,608
営業外収益合計	6,221
営業外費用	
支払利息	8,315
社債利息	2,434
その他	1,195
営業外費用合計	11,945
経常利益	62,132
特別利益	
貸倒引当金戻入額	114
特別利益合計	114
特別損失	
たな卸資産除却損	613
固定資産除却損	420
特別損失合計	1,034
税引前四半期純利益	61,211
法人税、住民税及び事業税	310
法人税等調整額	34
法人税等合計	344
四半期純利益	60,866

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 (個別)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	110,173
減価償却費	179,964
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△772
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△8,240
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	858
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△19,181
受取利息及び受取配当金	△767
為替差損益 (△は益)	53
支払利息及び社債利息	22,538
有形固定資産除却損	420
売上債権の増減額 (△は増加)	△175,026
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△191,196
仕入債務の増減額 (△は減少)	171,424
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△39,380
その他	29,557
小計	80,426
利息及び配当金の受取額	767
利息の支払額	△24,137
法人税等の支払額	△1,036
営業活動によるキャッシュ・フロー	56,019
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△57,951
無形固定資産の取得による支出	△1,820
投資有価証券の取得による支出	△37
従業員に対する貸付けによる支出	△1,022
その他	△6,021
投資活動によるキャッシュ・フロー	△66,853
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△300,000
長期借入金の純増減額 (△は減少)	△62,380
リース債務の返済による支出	△3,982
配当金の支払額	△493
財務活動によるキャッシュ・フロー	△366,855
現金及び現金同等物に係る換算差額	△53
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△377,743
現金及び現金同等物の期首残高	1,083,600
現金及び現金同等物の四半期末残高	705,856

## 5. 補足情報

## (1) 経営管理上重要な指標の推移

## 部門別売上高明細表

	当 期		前 期		増 減(千円)
	(平成22年12月～平成23年5月)		(平成21年12月～平成22年5月)		
	金 額(千円)	構成比(%)	金 額(千円)	構成比(%)	
ゴム薬品	2,183,937	61.5	2,060,731	61.1	123,206
樹脂薬品	513,314	14.5	496,993	14.7	16,321
中間体	364,930	10.3	374,538	11.1	△9,608
その他	485,831	13.7	442,850	13.1	42,980
合 計	3,548,013	100.0	3,375,113	100.0	172,899
(うち輸出)	506,246	14.3	510,166	15.1	△3,919

当社は、原則として見込生産を行っております。